【土木構造・材料論文集 第３９号】

土木構造・材料論文集投稿要領

１．　内 容

(1) 土木工学全般、主としては構造・材料工学に関する調査・研究・開発について執筆したもので、理論的なものよりむしろ技術的・工学的に有益で実用性の高いものを歓迎する。できれば官界・業界・学界共同のものが望ましい。

(2) 論文集には、投稿原稿の「論文・報告」「資料・解説」「外国語論文抄訳」の他、依頼原稿の「招待論文」「技術展望」「講演論文」等も掲載する。

(3) 投稿原稿は未発表であること、また、他学協会誌等（外国雑誌等も含む）へ二重に投稿していないことを原則とする。

(4) なお、既発表の「論文・報告」であっても、内容を追加したり、いくつかの論文を統合する、等して再構成したもの、あるいは外国語論文を和訳したものでもよい。ただし、外国語論文に関しては、それが既に発行されている場合でも「論文・報告」（査読有）として受け付ける。また、「外国語論文抄訳」（査読なし）の場合も既発表論文でも受け付ける。

(5) 個々の「論文・報告」が上記(3)(4)に抵触あるいは該当するかの判断は編集委員会で行う。この判断を容易にし、また正確を期すため、投稿にあたって、既発表の内容を含む場合、あるいは関連した内容の場合には、投稿申込票の所定欄に「過去の発表の経緯」を記載するとともに、論文の脚注にもその旨を明記すること。なお、外国語論文抄訳の場合には別刷等を必ず添付すること。

同じ著者が外国語論文を和訳して投稿された論文の取扱い

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 「論文・報告」 | 「外国語論文抄訳」 |
| 外国語論文は既発刊である場合 | ○ | ○ |
| 論文投稿中の場合 | × | × |
| 査　　読 | 査読あり | 査読なし |

２．　投 稿 資 格

論文集への投稿原稿の第一著者は、(一社)九州橋梁・構造工学研究会会員（KABSE会員）もしくは(公社)土木学会会員であることとする。投稿申込み時に(一社)九州橋梁・構造工学研究会（KABSE）に入会申込みをする場合も、会員として認める。

３．　投 稿 区 分

投稿原稿の区分は、その内容に応じて次の3種類とする。

(1)「論文・報告」 …… 調査・研究・開発の論文・報告

(2)「資料・解説」 …… 「論文・報告」には適さないが、有益な情報を提供するもの

(3)「外国語論文抄訳」 …… 外国語で発表・出版された有益な情報を抄訳したもの

４．　投稿申込方法、申込先および期限

(1) 投稿を希望する場合には、(一社)九州橋梁構造工学研究会（KABSE）のホームページから、土木構造・材料論文集「投稿申込票」をダウンロードのうえ、下記の投稿申込先宛にemailにて投稿申込期限までに申し込む。申込みを受付け次第、受領確認を返信する。「投稿要領」、「原稿の書き方」、「原稿作成例」および「KABSE論文作成テンプレート」は、(一社)九州橋梁構造工学研究会（KABSE）の下記ホームページからダウンロード可能。ダウンロードできない場合はその旨ご連絡下さい。

KABSEのホームページ：<http://www.kabse.com/>　（各種刊行物→土木構造・材料論文集をクリック）

(2) 投稿申込先 　　　 ･･･････････････････ ［12. 原稿提出および問い合わせ先］ に記載

(3) 投稿申込期限：　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 ･･･････････････････ ５月３１日

５．　原 稿 提 出 期 限 等

原稿提出期限は厳守とし、遅れたものは受け付けない。提出先は ［12．原稿提出および問い合わせ先］ に記載する。

1. 査読用原稿の提出期限 ：本文（PDF）を電子メールで送付 ･　　　　　　････････････････ ６月３０日
2. 最終原稿の提出期限 ：本文および概要（PDFとWordの両方）を電子メールで送付 ････････ １０月３１日
3. 発刊 　　･･･････････････････････････････････････ １２月（予定）

［注］　査読用原稿、最終原稿ともに提出時に原稿チェックシートで原稿の体裁を確認の上、チェックシートも送付すること。最終原稿のPDFは編集委員会では修正を加えず、そのままCD－ROMに収録されるので、論文体裁については全て著者の責任に帰するものとする

６．　原 稿 の 書 き 方

投稿にあたっては、「土木構造・材料論文集原稿の書き方」「原稿作成例」（(一社)九州橋梁構造工学研究会（KABSE）の上記ホームページからダウンロード可）を参照して下さい。なお、英文での投稿を希望する著者は、英文原稿見本をお送りしますので下記の本委員会編集委員長までご照会下さい。

1. 投稿原稿はワープロでＡ４用紙に所定のレイアウトで執筆し、査読用印刷原稿3部と電子ファイルを提出する。
2. 論文集は著者からの最終提出原稿をそのままCD-ROM版として発刊する。
3. 投稿原稿1編の目安は８ページ程度とし，上限を１０ページとする。

７．　査 読 手 続 き

1. 投稿された「論文・報告」「資料・解説」の原稿については、(一社)九州橋梁・構造工学研究会論文集編集小委員　会（以下、本委員会）で選考した査読者に査読を依頼する。本委員会では査読結果に基づき掲載を決定する。
2. 投稿された「外国語論文抄訳」の原稿については、本委員会または本委員会で選考した適任者がその内容を審査する。
3. 査読に当たって、本委員会は著者に対して問い合わせ、または内容の修正を求めることがある。
4. 査読結果に応じて、本委員会は投稿原稿の「論文・報告」と「資料・解説」の区分の変更を求めることがある。
5. 原稿に関する照会または修正依頼を行った後、所定期日以内に著者から回答や提出がない場合には、本委員会は査読を打ち切り、論文集への掲載を取りやめる。

８．　掲　載　料

論文集への掲載料として以下に示す金額を、掲載確定時に納めること。なお、第一著者がKABSE会員の場合は10,000円、第一著者がKABSE非会員の場合は20,000円とする。

論文掲載料

|  |  |
| --- | --- |
| 第一著者がKABSE会員 | 第一著者がKABSE非会員 |
| 10,000円 | 20,000円 |

９．　別　刷

別刷は50部単位で実費にて申し受ける。別刷料金は8頁を基準として、概ね12,000円程度（税抜き）。

10．　著 作 権

土木構造・材料論文集に掲載された個々の著作物の著作権は著者に属し、(一社)九州橋梁・構造工学研究会（以下、KABSE）は編集著作権をもつものとする。また、著者は、土木構造・材料論文集に掲載された個々の著作物について、著作権の行使をKABSEに委任することとする。ただし，著者自らがこれを行うことは妨げない。

11．　そ の 他

1. 投稿原稿の受付日は、査読用原稿提出期限の日付（2023.6.30 受付）とする。
2. その他の投稿に関する問い合わせは、下記の本委員会編集委員長までご照会下さい。

12．　原稿提出および問い合わせ先

〒870-0397　大分市一木1727

日本文理大学　工学部　建築学科　池見　洋明

Phone : 097-524-2643

E-mail : ikemihr@nbu.ac.jp